

## ご支援のお願い

鼓童文化財団は、趣旨にご賛同くださった皆様からのご寄付や「鼓童の会」会費を主な活動源としております。当財団への寄付金および会費は、特定公益増進法人への支援金として、確定申告により所得税の優遇措置の対象となります。また、お住まいの自治体によっては、住民税も対象となります。今後とも鼓童グループの活動に対し、皆様の格別のお力添えをお願い申し上げます。

## ご支援の方法

### 1. 「鼓童の会」へのご入会

鼓童の活動に共感してくださる皆様と鼓童をつなぎ、活動を幅広く応援していただく会です。会員の皆様には、毎月発行の機関誌「月刊鼓童」をはじめ、鼓童の様々な活動情報をお送りするほか、公演の先行予約やオリジナル商品の割引などの特典があります。会員種別およびご入会方法の詳細は、当財団事務局へお問い合わせいただけ、鼓童公式サイトのご案内をご覧ください。

### 2. ご寄付

ご寄付は、1口1,000円で随時お受けいたしております。年に10口(1万円)以上ご寄付いただいた方には、鼓童文化財団の年次報告書、鼓童公式サイトにお名前と金額を掲載させていただきます。

#### 1. 郵便振込

郵便局備え付けの払込用紙にお名前、ご住所、(10口以上の場合にお名前掲載のご希望の有無)をご記入の上、郵便振替口座 [00690-9-25829(財)鼓童文化財団] 寄附金ください。

#### 2. クレジットカード

鼓童文化財団事務局より申込書をお取り寄せいただき、鼓童公式サイトの「寄附申込フォーム」からお申込みください。

#### 3. 研修生育成支援

ご寄付、古本募金などを通じて、研修生の育成をぜひご支援ください。

#### 1. ご寄付

1口1,000円より随時、また毎月ご定額のサポートを受けています。ご支援者へは、研修生からのお礼状をお届けします。一括30万円以上、または毎月2万円以上のご支援者には、研修所内にお名前のカードを掲示し(希望者のみ)、収穫祭などの研修所行事へご招待いたします。一括50万円以上、または毎月5万円以上のご支援者には、上記に加え、支援いただいた年の研修生が準団員となって出演する鼓童公演にご招待いたします。

\*お申込方法は上記ご寄付と同様ですが、備考欄に「研修所育成支援」とご明記ください。毎月のサポートをご希望の方は、鼓童文化財団までお問い合わせください。

#### 2. インカイン(物による支援)

2014年度は、食器、お米、電子ピアノなどをご提供いただきました。このようなご協力をいただける方は、ぜひ鼓童文化財団事務局までご連絡をいただければ幸いです。

#### 3. 鼓童×きしゃぽん「どんこ古本募金プロジェクト」<http://kishapon.com/kodo/>

「古本募金きしゃぽん」の協働パートナーとなりました。「きしゃぽん」は、ご自宅に眠っている本・DVDなどをリサイクル換金し、指定の団体(協働パートナー)に寄付する仕組みです。当プロジェクトを通じていただくご寄付は、研修生の支援に使われています。詳しくは、古本募金きしゃぽん(フリーダイヤル 0120-29-7000、tel. 04-2931-3000)までお問い合わせください。

#### 4. 「いのちもやして、たたけよ。」プロジェクト

鼓童結成30周年を記念して発行した書籍「いのちもやして、たたけよ。」を全国の図書館に寄贈するプロジェクトです。READYFOR(レディフォー)というクラウドファンディング・サイトを通じたご支援を、2015年5月14日まで募集中です。

詳細は、READYFOR「鼓童の『思い』を、全国の図書館を通じて届けたい!」プロジェクトサイトでご確認ください。

[https://readyfor.jp/projects/inochi\\_moyashite\\_tatakeyo](https://readyfor.jp/projects/inochi_moyashite_tatakeyo)

インターネットにクレジットカード情報を登録たくないという方は、当財団が手続きを代行させていただきますので、お問い合わせください。(このプロジェクトの支援金は税制上の優遇措置の対象となりませんので、予めご了承ください。)



## 「鼓童文化財団」役員・評議員

理事長	島崎信	武蔵野美術大学名誉教授
副理事長	五十嵐實	税理士、日本自然環境専門学校長
専務理事	菅野敦司	(株)北前船 取締役
理事	浅野昭利	(財)浅野太鼓文化研究所 理事長
理事	高野宏一郎	前佐渡市長
理事	松田祐樹	NPO法人佐渡芸能伝承機構 理事長
理事	山口幹文	太鼓芸能集団「鼓童」名譽団員
監事	荒井久夫	税理士
監事	佐藤一行	(株)北前船／(有)音大工 監査役
評議員	関原剛	協同組合ウッドワーク 顧問
評議員	堀口智顕	サンフロンティア不動産株式会社 代表取締役社長
評議員	青木孝夫	(株)北前船 代表取締役社長

## 鼓童グループ

活動理念：私たちは、太鼓とともに世界をめぐり、多様な文化や生き方が響き合う「ひとつの地球」をめざします。

鼓童グループは、以下の4つの組織に分かれています。

### ●太鼓芸能集団「鼓童」

太鼓を中心とした音楽芸能の創造、実演、教育などの活動を行います。

### ●株式会社 北前船

太鼓芸能集団「鼓童」のマネジメント、公演等の企画、興行、鼓童商品の開発販売を行います。

### ●有限会社 音大工

太鼓芸能集団「鼓童」および鼓童グループの著作権管理、映像音源メディアの企画制作を行います。

### ●公益財団法人 鼓童文化財団

太鼓芸能集団「鼓童」が培った経験と佐渡の資源を活かし、広く社会に貢献できる活動を行います。

# 太鼓の力で、よりよい未来を。

# KODŌ

公益財団法人 鼓童文化財団

年次報告・計画書 2014 - 2015

## ご挨拶

2014年度は、鼓童文化財団によりまして、経済的自立のための体制作りに力点をおいた1年でした。また地域づくりの人材育成プログラムを試行し、「深浦学舎」を開設し、新たな分野へ挑戦しながら模索と解明の日々を重ねて居ります。

2015年度には、鼓童の研修所が柿野浦の地に移って20周年を迎えます。鼓童文化財団の運営のもと、1年制から2年制になり、多くの若者が研修所に集い、学び、巣立ってまいりました。この地で学んだ人材が、さまざまな場所で活動しておりますことは、皆様のご助力とともに、関係者の努力を忘れることができません。

春の北陸新幹線開業に伴い、佐渡への注目も高まると思われます。地域振興にもこれまで以上に積極的に取り組んで参ります。

支えてくださっている多くの方々への感謝の心を本年の財団の心とし、皆様からの更なるご支援とご鞭撻のほど、お願い申し上げます。



公益財団法人 鼓童文化財団  
理事長 島崎信

## 4つの活動の柱

### 1 人づくり 研修および体験学習を通じた担い手育成

鼓童文化財団研修所と深浦学舎を核として、豊かな人間性を持った、芸術文化と地域社会の担い手育成に努め、太鼓をはじめとする伝統芸能や地域をフィールドとした体験学習の提供を通じ、鼓童が培ったノウハウを次の世代へ伝えていく場づくりを行います。

### 2 地域おこし 地域資源を活用した地域活性化

鼓童が拠点とする佐渡は、美しい自然と豊かな歴史に恵まれた魅力ある島です。鼓童文化財団は、「佐渡太鼓体験交流館(たたこう館)」の運営を行い、地域の方々や各種団体と協働し、佐渡の観光振興、特産品開発、町並み保全・活用、廃校利用に取り組んでいます。

### 3 芸術文化の振興 調査研究、教育・社会活動を通じた芸術文化の振興

佐渡の芸能、生活文化を中心とした調査研究や実践を通して、現代における伝統文化の活用の提言を行います。また、鼓童グループメンバーによる海外や国内での小編成の演奏やワークショップ、講演活動を行い、芸術文化を通じた社会活動・教育活動を積極的に展開しています。

### 4 國際交流 國際的な文化交流の場づくりと実践

海外の方を対象にした太鼓や佐渡を経験できる合宿型ワークショップ、海外からのゲストを招いた佐渡での国際芸術祭「アース・セレブレーション」の開催等を通じて、佐渡における国際的な文化交流の場づくりを行っています。

## 鼓童文化財団への期待 ~協働、そして持続可能な未来へ~

2011年に公益財団法人へ移行し、4つの活動の柱を軸としたより公益的な活動を推進すべく、異なる分野の専門家との協働プロジェクトを展開しています。

「企業研修」「健康増進・介護予防」「佐渡の地域おこし」「国際交流」という分野において、理念を共有し一緒にプロジェクトに取り組んでいる皆さまから、鼓童文化財団への期待を寄せていただきました。

### これからの時代を生きる感性を育む人づくりを。

2011年、コーネル大学ビジネススクール生による日本・韓国旅行を計画し、佐渡訪問のコーディネートを鼓童文化財団に相談したことがきっかけで縁ができました。

鼓童の前身「佐渡の國鬼太鼓座」は、かつて「日本海大学」という職人学校を設立し、日本や世界をよりよくするための場を創ろうとした歴史も知りました。その理念とコーネル大学CSGEが掲げる「我々の住む社会・環境がもつ課題に対し、持続的な解決策を企業の力を活用して生み出し、より良い社会の実現に寄与する」というミッションに共通性を感じました。

そこで両者の強みを合わせ「未来の学校」という独自のプログラムを開始しました。この体験を通じ、参加者には「未来を生きていいくのに必要な想像力、創造力、つまり感性」を養ってもらいたいと思います。コーネルが持つ「持続性のあるビジネス創出の知識」や「グローバルネットワーク」、鼓童文化財団がもつ「非言語的なコミュニケーションツール(太鼓)」や「人を元気にする力」を掛け合わせ、国籍や職業に囚われず、出かける場所にインスピレーションを持ち込める人を少しでも増やしたいと考えています。

鼓童の皆さんには「人を惹き付ける力」を持っている人々の集まり。「魅力的な人間」を育てるプロフェッショナル集団だと思います。「太鼓」というツールを活用し、「魅力的な人間」が世の中に増えしていくための活動をデザインし、進められていくことを期待しています。



唐川 靖弘(からかわ やすひろ)  
コーネル大学経営大学院 アソシエートマネジングディレクター

同大学院Center for Sustainable Global Enterprise(持続性のあるグローバル企業センター)の特別研究員。企業とのプロジェクトにおけるコンサルティング、プランニング業務を通して、社会的価値の高いビジネスの創造を推進。

### 「こころの世界遺産」をつくる航海をともに。

1997年に佐渡へ赴任した時に見たアース・セレブレーションが鼓童との出会いです。伝統文化を愛する音楽アスリートのように思えました。今は、未知の世界に繰り出す帆船と一緒に乗る頬もししい船乗りのように感じています。

鼓童文化財団とともに取り組んでいる「EXADON エクサドン」の狙いは「こころの世界遺産をつくる」こと。認知症・介護予防のテーマは、老いる、病む、死ぬことであり、生きる苦しみを克服することです。私はこの苦しみを「こころの戦争」と呼んでいます。こころの戦争から離れ、こころの平和に至る智慧と勇気は人類にとって普遍的な価値を持ちます。身体、自然そして人と人の対話を通して、それを発見する航海へ皆さんを連れ出そうと考えています。

運動習慣、楽しい精神活動、社会的活動は、認知症だけでなく、様々な病気や障がいの予防や精神的なサポートに有効。伝統芸能にはこれらの要素がふんだんにあります。特に太鼓はユニバーサル・デザインの楽器であり、老いも若きも、障がいのある人も分け隔てなく楽しむことができます。世代や地域をつなぎ、対立を乗り越え、こころの平和をもたらす太鼓の文化が生まれる可能性があります。

地球規模の視点を持ちながら、地域の具体的な課題を解決するための活動を通じ、鼓童文化財団と共に「こころの中に平和の砦を築く島づくり」をしたいと考えています。



森本 芳典(もりもと よしのり)  
汐彩クリニック 院長

愛媛県出身。精神保健指定医で佐渡市の認知症サポート医。また、佐渡市認知症施策総合推進事業嘱託医も務める。太鼓と芸能による健康増進・介護予防フィットネスプログラム「EXADON エクサドン」を佐渡市、当財団とともに開発・推進中。

### 深浦学舎を、魅力発信・新たな価値創造の場に。

東京に出てから30年以上が経ち、育ててくれた佐渡に恩返しができないかと考え始めました。教育、文化、スポーツの各分野の一番を応援したく、佐渡を代表して国内外で活躍してくれている文化活動集団である鼓童との接点を持ちました。

鼓童は日本人の心に響く「太鼓」という魅力で人を集め、佐渡での人材育成や研修といった、佐渡が人々の心のふるさととなる感動体験を提供し、さらには「人間とは」を思い返させてくれる集団です。体験型企画など、心の充足、歴史的好奇心、地域との触れ合いを得られる魅力的な取組みは、間違なく佐渡ファンを増やします。鼓童文化財団は、佐渡を愛する人を増やし、地域おこしに繋がる「利他」の使命を持つ組織だと思います。

深浦学舎ができ、宿泊型の活動が活発に行われるようになったことは大きな魅力ですね。海を渡り、自然に身を浸す。体験や地場産の食を楽しみ、人に出会う。佐渡の魅力発信地、そして附加価値創出の場に深浦学舎はなり得ると思います。特に心の満足を求める日本人、日本らしさに魅力を感じる欧米の方々などに喜ばれることでしょう。集落の人を巻き込んで温かく楽しい佐渡にしたいですね。

日本海に浮かぶ文化と歴史が鼓動する佐渡。鼓童文化財団がもつ若者の心を引きつける企画力と発信力を、ぜひ佐渡の活性化に活かして頂きたいと願います。



堀口 智顕(ほりぐち ともあき)  
サンフロンティア不動産株式会社 代表取締役社長

佐渡市小木出身。鼓童文化財団評議員。佐渡市堀口基金(奨学金)、トライアスロンへの支援など佐渡の地域活性化へ多大な応援活動を展開される。稻盛和夫氏が塾長を務める経営塾「盛和塾」理事でもあり、その経営哲学から当財団に多くの教えを頂いている。

### 持続可能な社会の世界的モデルに誇りと期待を。

1984年、北米ツアー中だった鼓童がロサンゼルスを訪れた時に、私は初めて鼓童に会いました。私の所属する「緊那羅(きんなら)太鼓」というグループが、鼓童のために洗心寺でパーティーを開いたのです。初めて観た鼓童の演奏には、興奮し圧倒されました。同時に、舞台づくりと生き方に対する献身的な姿と専門性の高さに尊敬と賞賛の気持ちを抱きました。

KASAは鼓童文化財団と連携してワークショップや小規模公演のツアーを北米や日本で開催しています。そのうち高い評価を得ている「KASA/MIX」というプログラムは、北米を始め様々な国からの参加者に、佐渡で鼓童の講師によるワークショップを提供し、鼓童文化財団研修所の生活を経験してもらうというものです。

KASAはこのような連携事業を、今後も鼓童文化財団と一緒に展開していくと思います。同時に、鼓童が伝統文化の保存における牽引者であり、持続可能な社会の世界的モデルとなる画期的な仕事を行っていることが世界に広がり、認知されることを期待しています。

鼓童が掲げる「一つの地球(one earth)」というメッセージを届けていくお手伝いができるのを非常にありがたく、誇りに感じております。



Donna Hokoda Ebata (ドナ・ホコダ・エバタ)  
Kodo Arts Sphere America プログラム・ディレクター

2005年より、北米の非営利団体Kodo Arts Sphere America (KASA)のプログラム・ディレクターを務める。Great Leapという芸術団体での制作や企画・プロデュースを通じて、アジア系アメリカ人によるコミュニティアートの分野に20年以上携わってきた。「緊那羅太鼓」には30年以上在籍し、また「緊那羅雅楽」でも演奏している。

# 2014年度

## »»活動トピックス

鼓童文化財団にとって2014年は、閉校した学校を改修し、スタートさせた重要な年となりました。「柿野浦研修所」、「佐渡太鼓体験交流館(たたこう館)」に、新たな拠点「深浦学舎」が加わったことにより、次世代への人材育成、そして持続可能な地域社会の未来へと繋がるプログラムに、更なる拡張が生まれました。



和室、洋室(ベッド)を合わせ、約40人の宿泊が可能

### 深浦学舎

「深浦学舎」は、平成23年3月に閉校した旧深浦小学校を改修して、昨年5月にオープンした施設です。閉校後も、地域住民の避難所及び地域活動等の目的で利用されてきましたが、鼓童誕生の原点である「日本海大学構想」を再創造する学びの場として活用すべく、新たに宿泊と飲食の提供が可能な研修施設となりました。2014年には海外の大鼓グループや高校生の合宿、社会人の研修、鼓童の会の交流企画等で、宿泊者を受け入れました。



### 未来の学校

米国のコーンELL大学経営大学院と共に、島外の企業・起業家をはじめとする社会人、学生向けの研修プログラム「未来の学校」を夏と秋に開催しました。「海を渡ること」で日常とは異なるマインドで物事を考え、普段の生活では出会う機会のない背景・経験を持つ人々と寝食を共にし、身体を使ったコミュニケーションや自分の内なる声を表現する機会を提供し、創造・思考する力を豊かにしてくれる滞在型プログラムです。クリエイター、デザイナー、ビジネス経営者などの方々が参加されました。



ワカメ刈りの様子

### EXADON エクサドン

日本は近い将来、65歳以上の5人に1人は認知症になると言われています。2月から佐渡市の高齢福祉課、汐彩クリニック院長の森本芳典氏と連携し、太鼓と芸能を愉しむ智恵と身体活動を中心にした健康増進、介護予防フィットネス・プログラム「EXADON エクサドン」を開始しました。佐渡島内で多くの方にプログラムを提供できるよう、指導者(サポート)の養成講座も開催し、計29名の皆様にご参加いただきました。

※エクサドンは、エクササイズ、佐渡(サド)、太鼓の「ドン」を合わせた造語。



「佐渡おけさ」など、参加者に身近な曲を使って

## »»決算

貸借対照表 2014年12月31日現在

正味財産増減計算書 2014年1月1日から12月31日まで

I 資産の部		(単位:円)
流動資産	現金および預金	14,891,969
	売掛金	13,125
	未収金	8,611,499
	仮払金	170,802
	その他	1,593,133
	流動資産合計	25,280,528
固定資産	基本財産	100,211,931
	その他	23,035,172
	固定資産合計	123,247,103
資産合計		148,527,631

I 正味財産増減の部		(単位:円)
1. 経常収益	1. 基本財産運用益	3,024,516
2. 事業収益	2. 事業収益	99,055,107
3. 鼓童の会収入	3. 鼓童の会収入	8,392,000
4. 寄付金収入	4. 寄付金収入	21,241,803
5. 補助金収入	5. 補助金収入	991,000
6. 雑収益	6. 雑収益	3,830,517
経常収益計	経常収益計	136,534,943
(2) 経常費用	1. 事業費	104,385,901
	2. 管理費	31,199,971
	経常費用計	135,585,872
当期正味財産増減額		949,071
正味財産期首残高		93,153,800
II 正味財産期末残高		94,102,871

III 正味財産の部		
正味財産		94,102,871
負債および正味財産合計		148,527,631

## »»ご支援いただいた皆様

昨年も多くの皆様からご寄付や会費、そして食器など様々なご支援をいただきました。深く感謝申し上げます。  
ありがとうございました。以下にご紹介させていただきます。(敬称略)

### ご寄付 (2014年1月1日~12月31日)

12,000口 堀口智顕／500口 島崎信／300口 中谷眞砂子／250口 (株)北前船／200口 松井秀樹／130口 福田正弘／50口 (有)小木工務店、上村稔、相田三郎／30口 高橋利市、三浦澄夫／20口 吉本知子、松本和子、太田厚生／15口 松永政雄／10口 エス・ワルド、伊庭文子、永井博子、榎本克子、横川賢一、丸尾美奈、久保山純子、駒形政敏、佐藤惇、山口敬子、秋元勇巳、春本博章、小山実、小田嶋章子、植村和子、植田宏樹、新畠茂充、清水寛二、田辺和子、渡部艶子、渡部茂子、渡邊光喜、土田美佳、藤本常一、北村議生、本田正、中島一  
300口 永年賛助会(12名) 松嶋三雄ほか11名

10口未満および匿名希望の方のご寄付の総額 3,722,803円

合計153名と4団体から、総額21,257,803円のご寄付をいただきました。

### インカインド (物によるご支援)

食器 水井陶器店 斎藤修、斎藤悦子／お米900kg 池野牧場／電子ピアノ 日下啟啓

### 会員の皆様(2014年12月31日現在)

#### 鼓童の会(日本語のサービス)

支援会(年会費5万円) 荒川友美子、大塚哲朗、株式会社スター・ハート、高山輝美、吉川峰子 ほか6名

特別支援会(年会費10万円) 内田和子、榎田順二、北島京子、瀧澤太郎、松井秀樹 ほか4名

後援会(年会費1万円)286名／友の会(年会費3,000円)1278名／永年賛助会(賛助会からの移行)12名

#### Friends of Kodo(英語のサービス)

GroupA(年会費2,000円)9名／GroupB(年会費1万円)4名

### 会員数総数：1609名

※上記のほかに、(株) 北前船が管轄する賛助会(定員350名／特別賛助会費30万円)の会員情報を管理。

# 2015年度

## »»活動トピックス

2015年は、柿野浦研修所が20周年を迎える節目の年となります。また、2014年から取組をスタートさせた「地域づくりコース」「未来の学校」「エクサドン」の3つのプログラムの充実を図るとともに、ファンドレイジング(資金調達)力を強化し、人材育成、芸術文化や地域の振興、国際交流における公益活動を更に推進してまいります。



### 柿野浦研修所20周年

鼓童の研修制度は1985年より始まりましたが、1996年に佐渡市柿野浦の旧岩首中学校の校舎を研修所としてお借りして、今年で20周年を迎えました。現在、鼓童に在籍するメンバーの約8割が、柿野浦で研修期間を過ごしています。巣立っていった研修生はのべ150人にのぼり、面接の参加者や、体験入所、鼓童塾やKASA/MIXなどの合宿ワークショップの参加者も含めれば、数えきれないほどの方々の思い出がつまっている場所となりました。20周年を記念した行事のほか、年間約3,000万円の費用がかかる研修所の運営費へのご支援として「研修生育成支援」や、研修生が稽古で使用するバチを作るための木材(バチ材)の購入支援のプロジェクトなどをスタートさせました。築60年を越えて、老朽化した建物の補修も行いたいと考えています。

### さらなる充実、 そして深化したプログラムへ

2014年に始まった「地域づくり」コース、「深浦学舎」、「EXADON エクサドン」が2年目を迎え、この3つの事業の更なる充実と深化を図ります。

「地域づくり」コース2年目は、地域づくりと経済的自立を目標に「地域で働きながら学ぶ」実習スタイルの確立を目指します。地域における様々な矛盾や課題に対し、特色あるビジネスモデルを創造すべく、挑戦を続けていきます。

「深浦学舎」は、学びの場としての活動を活発化しています。「未来の学校」の本格的な実施、また鼓童名誉団員による「鼓童塾～深浦学舎篇～」を4回開催するなど、更なる研修・合宿プログラムの充実を図っています。

「エクサドン」は、サポートー養成を更に拡充していくとともに、新たに60～70代に向けた「介護予防太鼓教室」を佐渡市とともに開催する予定です。また、この「エクサドン」を応用し、太鼓と医療介護を融合させたメンタルヘルスプログラムの研究と実践を行ってまいります。



鼓童名誉団員によるワークショップ  
実習生が商品化を目指す「嫁入りワカメ」

## »»事業計画

### 重点分野

- ・深浦学舎の活用による、研修プログラムの充実
- ・メンタルヘルスプログラムの開発
- ・地域の未来を担う人材と仕事の創造

### 実施事業

#### ア. 調査研究事業

- ① 佐渡の文化に関する調査研究及び資料収集
- ② 太鼓と医療介護を融合させた認知症予防プログラムの開発
- ③ 観光振興
  - ・北陸新幹線開業、高速カーフェリー就航に伴う長野・北陸・関西方面への営業強化
- ④ 佐渡の地域振興に資する各種団体の事務局運営や活動のサポート
  - ・佐渡国小木民俗博物館を地域の文化拠点として活性化する事業
  - ・深浦小学校校舎活用委員会
  - ・小木湊まちなみの輪
- ⑤ アースファニチャー事業
  - ・「緑の少年団」によるベンチの製作
- ⑥ 伝統文化・文化活動への支援
  - ・東日本大震災被災地・郷土芸能復興支援活動
    - 岩手県・陸前高田けんか七夕祭り復興の記録
    - 岩手県・大船渡綾里(りょうり)地区の五年祭再興への関わり

#### イ. 研修事業

- ① 「太鼓芸能集団 鼓童メンバー養成」コース
  - ・1年次(34期／2015年4月より12名)
  - ・2年次(33期／2015年2月より8名)
- ② 「地域づくり」コース
  - ・試行第1期実習生の2年目の実習サポート(2015年2月より2名)
- ③ 「深浦学舎」の運営
  - ・旧深浦小学校を活用した新たな宿泊施設の運営
  - ・「未来の学校」開催

#### ウ. 佐渡太鼓体験交流館事業

- ① 佐渡太鼓体験交流館(たたこう館)の運営

#### エ. 国際芸術祭「アース・セレブレーション」事業

- ① 国際芸術祭「アース・セレブレーション」の実施・運営
  - 開催期間: 2015年8月21日(金)～8月23日(日)
  - ・城山コンサート、ワークショップ、ECシアター、セミナー、佐渡体験プログラム、ハーバーマーケット、フリンジ ほか

#### オ. アウトリーチ事業

- ① 「鼓童」メンバーによるアウトリーチ活動
  - 主なもの
    - ・鼓童塾(山口幹文、藤本吉利、藤本容子、小島千絵子、齊藤栄一)
    - ・「スタンフォード太鼓」佐渡合宿(見留知弘)
    - ・丸の内朝大学(齊藤栄一)
    - ・ロンドンの太鼓グループ「Taiko Meantime」とのコラボレーション「道成寺」(小島千絵子)
    - ・「北米太鼓会議」(小島千絵子)
- ② 鼓童 佐渡特別公演
  - ・春(2015年4月25・26日、5月2～5日)
  - ・秋(2015年9月19～22日)

#### カ. その他

- ① ファンドレイジング
  - ・企業との関係強化による法人寄付の促進
  - ・寄付のオンライン決済システムの定着化
  - ・インターネット時代の資金調達手法の導入
    - クラウドファンディング(インターネットを通じた不特定多数からの資金調達)
    - 古本募金「きしゃばん」(古本を換金して希望の活動団体に寄付)
    - ソーシャルフォース(非営利団体向け顧客管理システム)
- ・「鼓童の会」の運営
  - 永年賛助会制度の導入など